

平成31年度 事業実施計画書（モデル的事業）

団体名：空町まちづくり協議会

1. モデル的事業名	まちづくり協議会運営活性化事業
2. 事業名	空町まち協運営活性化事業
3. 目的	<p>人口減少や高齢化によって町内会の維持や役員の選出が難しい。また、まち協役員は1年交代のため新役員は予備知識や情報が無い中、年度当初に新年度の事業計画等を立案しなければならない。そのため、前年度事業を踏襲する事が通例となり、新規事業の提案、既存事業の改善、組織改革等を行うことは非常に困難となっている。</p> <p>本事業では、平成30年度の設置した「企画・支援チーム」により、組織体制や事業の見直しを図り、役員の専従化についても検討する。</p>
4. 事業内容	<p>平成30年度に設置した「企画・支援チーム」（3名）が、各事業及び各会議に出席し、本部役員と意見交換会を行う。</p> <p>これを踏まえ、各委員会やまち協本部に対して、新規事業の提案、既存事業についての課題の提起や改革などの具体的な提言を行う。各委員会においては提言内容を次年度事業計画・予算案に反映させるよう検討を行う。</p> <p>また、高齢化、過疎化を踏まえて町内会やまち協の在り方、組織改革、役員の専従化についても検討を加え、提言をまとめ、組織改革案を提案する。</p> <p>当初は地域活動歴のあまりない若いメンバーを想定していたが、公募の結果、NPO 法人関係者やコミュニティ診断士など、地域活動等に基礎知識を有するメンバーとなったため、チームの資質向上のための研修は実施せず、必要に応じて、空町の課題に合った先進地視察研修を行い、研修内容を提言に生かす。</p>
5. 効果見込	<p>本チームからの様々な提言や支援によって各委員会での活発な議論を促すとともに、既存事業の改善や事業の運営方法をはじめ、まち協や町内会の時代に対応した組織改革や組織の活性化等が期待できる。</p>

平成 31 年度 事業スケジュール

月 日	項 目	事業内容 (対象・方法等)	摘 要
4 月～6 月	既存事業の改善・新規事業の提案キャンペーン	①事業・会議への出席 ②意見交換会 ③年間スケジュールの策定 ⇒問題点や、改善点の洗い出し 今年度事業への提言を行う	
6 月～3 月	組織改編の検討 企画・支援チームの活用	①2 ヶ月に 1 回程度、チーム内での検討会、本部役員との意見交換会を開催。 ②人口減少と高齢化を踏まえ、組織の改革と人材の有効活用など、様々な方向から検討する ③先進地等の視察研修	
12 月～3 月	既存事業の改善・新規事業の提案	4 月～12 月の活動を踏まえ、新年度に向けて提言を行う。 事業については次年度計画・予算に反映させる方向で検討する。 組織改編については第 1 次案を提示 ⇒来年度以降の方向性を提案	

平成31年度 空町まちづくり協議会 収支予算書 (モデル的事業)
空町まち協運営活性化事業

【収入】

単位：円

区 分	予算額	内 訳
市補助金	490,000	協働のまちづくり支援金(モデル的事業)
合 計	490,000	

【支出】

単位：円

事業・科目	予算額	内 訳	
		支援金充当額	
運営費	490,000	490,000	
人件費	400,000	400,000	委員報酬
旅費	60,000	60,000	研修費
需用費	30,000	30,000	消耗品費
合 計	490,000	490,000	